

管機連Daily News

2026年1月27日(火)

« 今日の主なニュース »

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆監査法人の会計士、最低人数引き上げへ 中小の合併加速も

・日本公認会計士協会は上場企業を監査する監査法人の登録要件を厳格化し、最低5人としている会計士の必要人數を引き上げる方針を発表した。2025年、中小法人が監査を担ったオルツの会計不正が発覚した。中小法人に監査を依頼する上場企業が増える中、監査品質の底上げに向け合併などによる規模拡大を促す。

◆外為17時 円相場が急伸、一時153円台後半 日米の協調介入を警戒

・26日の東京外為替市場で、円相場が急伸。17時時点では前週末の同時点に比べ4円06銭の円高・ドル安の1ドル=154円31～33銭で推移。一時153円82銭近辺と2025年11月中旬以来およそ2カ月半ぶりの円高・ドル安水準。日米が協調して円買い・ドル売りの為替介入に踏み切るとの警戒が高まり動きが活発となった。

◆日本のアニメ・ゲーム・グッズ、海賊版被害10兆円超 経産省25年推計

・経済産業省は日本のアニメやゲームなどに関するインターネット上の海賊版販売の被害額が2025年に10兆4000億円程度に上ったとの推計結果を発表。22年の前回調査までは映像をはじめとするデジタルコンテンツに対象を絞っていたがフィギュアなど偽のキャラクターグッズを加えた。デジタル品被害額は約5兆7000億円で前回調査のおよそ3倍。

« 業界ニュース »

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆25年の白物家電出荷額は2%増 過去2番目の高水準、エアコンけん引

・日本電機工業会は2025年のエアコンなど白物家電の出荷額が前年比2.4%増の2兆6418億円だったと発表。3年連続で最高気温を更新するといった猛暑を受けてエアコン販売が伸び、1991年に次ぐ過去2番目の高水準。全体の出荷額に占める割合が大きいエアコンの出荷額は7.7%増の8997億円、出荷台数は3.8%増の970万5000台だった。

◆東京製鉄、ホットコイルの環境製品宣言 非化石燃料電力を活用し製造

・東京製鉄は化石燃料によらずにつくった電力を活用した製品で環境製品宣言を取得したと発表。熱延鋼板を巻き取った「ホットコイル」が対象で、国内鉄鋼業界では初めてという。第三者認証を受けた環境情報として顧客の購買判断や、取引先も含めた供給網全体の温暖化ガス排出量「スコープ3」の削減に生かしてもらう。

◆東京電力が5年ぶり新再建計画、国が認定 資金確保へ提携募集

・東京電力ホールディングスは新たな再建計画を発表した。原子力発電所の安全対策や送電網の維持・増強などで経営は苦しい。東電や事業子会社などへの出資を含めて民間企業との提携戦略を広く募り、データセンターや再生可能エネルギー事業の成長投資への資金などを確保する。

« 注目商品 »

■クリナップ、YouTube新企画 プロがキッチンリフォームの悩みに回答

・公式YouTubeチャンネルで新企画「Café. はじまりリフォーム～プロと見据える第二の人生～」の配信を開始。キッチンリフォームを検討する層の認知向上を目的としたシリーズで、架空のカフェを舞台に一級建築士などの専門家が視聴者のリフォームに関する悩みにアドバイスする構成。



■パナソニックAWエンジニアリング、独立トイレユニットの上位モデル

・従来の3点式ユニットと同じスペースで、シャワーとトイレを分離し、独立トイレルームを実現できるユニットの上位モデルを発売。上位モデルは壁柄を拡充。モノトーン系(Black、Gray、White)の上質なカラーディネートが可能。



■グローエ、キッチン水栓「ミンタ」

・多様なスパウト形状と機能性で人気のキッチン水栓「ミンタ」シリーズに、水はね低減機能を搭載した新モデル7種類をラインアップ。日本国内のユーザーの声に応え、ドイツオリジナル品の散水板に改良を加えることで、水はねの少ない「ソフトスプレー仕様」を採用。

